

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第200号

令和5年2月8日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

協議会ニュース通算 200号になりました！

平成18年に51団体で発足した神奈川県青少年科学体験活動推進協議会（以下、協議会）は、現在96団体で子ども科学探検隊や中高生サイエンスキャリアプログラムの主催事業をはじめ、青少年のための科学の祭典神奈川大会や子どもサイエンスフェスティバルへの出展など様々な形で子どもたちへの科学体験を広めております。

協議会ニュースも平成18年3月末に第1号を発行して以来、約17年の時を経て、今号で200回目の発行となりました。ここまで活動を続けてこられたのも途切れることなく科学体験の機会をご提供いただいた会員の皆様、趣旨に賛同いただき携わっていただいた関係者の皆様方の尽力の賜物であります。「継続は力なり」とはまさにこのことです。次の300号、400号の発行に向けてこれからも協議会へのご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



令和2年度
子ども科学探検隊（麻布大学）



令和4年度
カナラボ
（神奈川工科大学）



平成30年度 科学講演会



令和4年度 中高生サイエンスキャリアプログラム（ミットヨ測定博物館）

3月3日(金) 協議会総会・科学講演会のご案内

会場：県立青少年センター（横浜・紅葉ヶ丘）3階 研修室1

総会：14時～15時30分 科学講演会：15時45分から17時

科学講演会 講師 岩崎 誠司 氏

日本技術士会神奈川県支部

演題 「ボーイスカウトとアマチュア無線」

なお、今年度も感染症拡大防止のため、講演会終了後の懇親会は開催いたしません。



カナラボ(先端技術を体験しよう)

青少年が大学や企業等における先端科学に触れる機会をつくり、理工系分野への興味・関心を向上させるとともに将来の科学技術を担う人材を育成する事業である先端科学連携体験事業「カナラボ」が再開され、今年度は3大学のご協力をいただきました。12月に行われた北里大学と神奈川工科大学、1月に行われた東京工芸大学の講座についてご紹介いたします。(いずれの大学も協議会会員)

12月10日(土曜日) 北里大学 薬学部附属薬用植物園

「絶滅危惧種ムラサキと生薬紫根を知る」

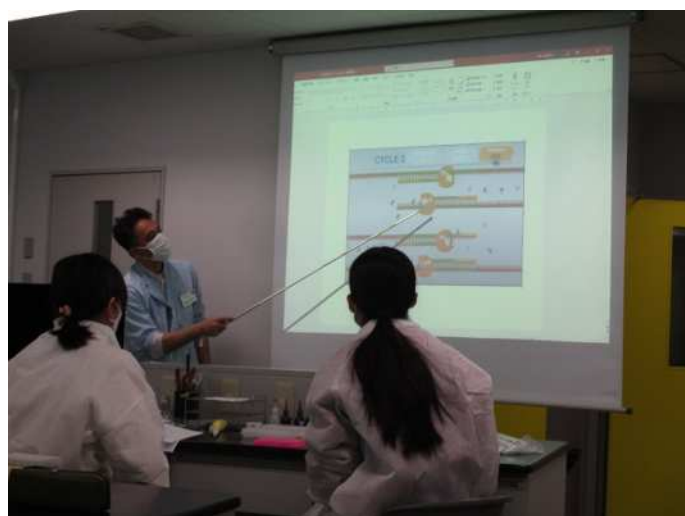


北里大学 薬学部 古平 栄一 准教授

- ・絶滅危惧種ムラサキ、紫根を収穫（植物の利用と生物多様性保全のバランスを考える）
- ・HPLCを用いた生薬紫根の成分分析（その理論と実際）
- ・生薬を用いた漢方を学ぶ（薬用植物園見学）
- ・生薬紫根を用いたくすり作り体験（軟膏剤作りのプロセスを学ぶ）

12月17日(土曜日) 神奈川工科大学

「バクテリアの観察と同定 ～無菌操作とPCR検査体験～」



神奈川工科大学 応用バイオ科学部 飯田 泰広 教授

- ・菌をグラム染色し、光学顕微鏡で観察
- ・PCRを用いた実験
- ・電気泳動を行いPCRの結果を評価
- ・バイオサイエンスセンター施設を見学

1月21日(土曜日) 東京工芸大学

簡易操縦型ロボットの製作とエンドエフェクタの設計・切削



東京工芸大学 工学部工学科機械コース 鈴木 秀和 准教授

- ・簡易有線ロボットの製作
- ・二次元 CAD によるエンドエフェクタの設計
- ・CAM による切削軌跡生成と小型 CNC による切削
- ・ロボットコンテスト体験

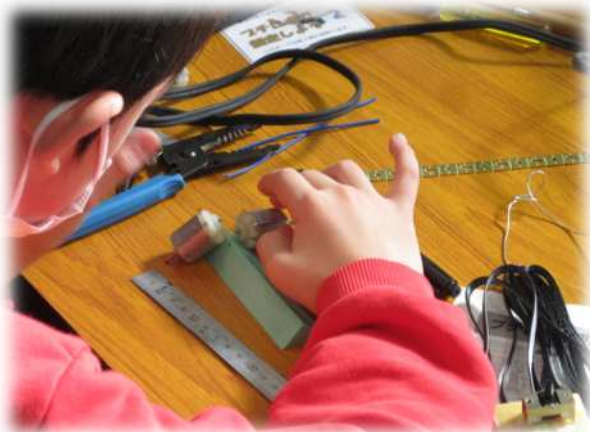
各大学の先生方、大学生・大学院生の方から直接ご指導いただき、普段、学校では学べないことを知ることができ、大変好評でした。
ありがとうございました。



プチロボで競走しよう 横浜・磯子大会

年間14回のうち、いくつかの大会では協議会会員様の施設をお借りして実施しておりました「プチロボで競走しよう」は、今年度の最後の大会で県立高校をお借りして開催いたしました。横浜市磯子区にある県立磯子工業高等学校（本名 隆一郎 校長）にて横浜・磯子大会として11名の参加者での工作、競走を行いました。

ものづくりを学べる学校でものづくりの科学講座を行うというぴったりの企画でした。午後は競走前に参加者、保護者、スタッフ全員で校内を見学させていただき、「高圧実験」の様子を見せていただきました。



子どもサイエンスフェスティバル横須賀大会

12月17日(土曜日)に横須賀市生涯学習センターまなびかんを会場に今年度2回目の「子どもサイエンスフェスティバル」として横須賀大会が開催されました。

午前、午後の事前申し込み制としましたが、横須賀市内の小学校を中心に横浜市や逗子市など様々な地域からの応募がありました。参加者の皆さんは、各団体の出展ブースで科学工作などを体験し、とても楽しんでいる様子でした。

出展いただきました5団体の皆様、ありがとうございました。

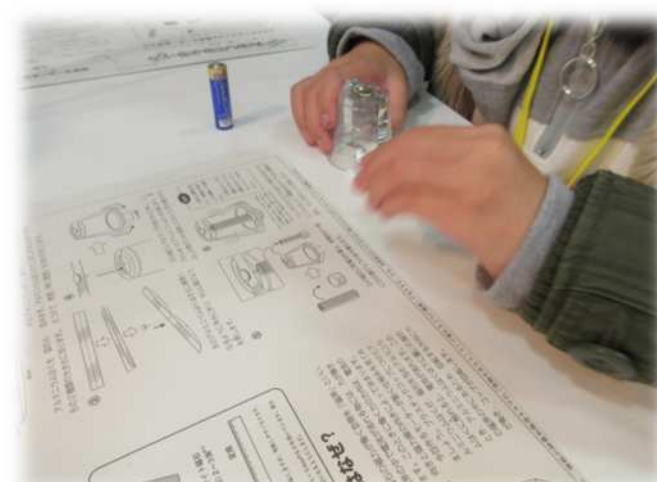
神奈川県環境学習リーダー会 「ミニすだれをつくろう」



おもしろ科学たんけん工房 「くるくるリング・ビー玉ジェットコースター」



鎌倉学園中学校 「プラコップでつくるかんたんモーター」



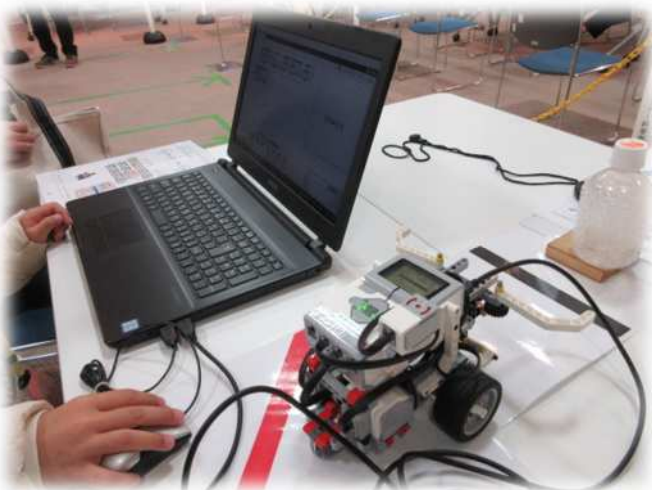
はまぎんこども宇宙科学館 「カライドサイクル」



紅葉ヶ丘無線クラブ 「LED イルミネーションを作ろう」



神奈川県立青少年センター科学部 「ロボットプログラミング」



※子どもサイエンスフェスティバルは公益財団法人東京応化科学技術振興財団の助成を受けています。

事務局から

協議会ニュースは協議会創設 17 年目にして 200 回目の発行となりました。会員の皆様方のご協力、そして情報掲載の話題をいただいていることに、事務局一同、感謝申し上げます。

3 月には今年度の協議会のまとめとなる総会、科学講演会が行われます。3 年ぶりに対面での開催となります。多くの皆様方の参加をお待ちしております。